

地域密着型サービス

令和3年度 第 5 回運営推進会議議事録

運営推進会議の開催状況について

法人名・事業所名	社会福祉法人幸清会 グループホーム来夢の杜太田		
所在地	茨城県常陸太田市上河合町1527-1		
担当者名・連絡先	施設長 湯田 愛	TEL 0294-80-6549	
従業者	従業者総数 20人 (内訳: 常勤9人 非常勤11人) (令和4年1月26日現在)		
うち夜勤の従業者	1日当たり事業所全体の勤務従業者数 2人		
運営推進会議の開催日	令和 4 年 1 月 26 日 (令和3年度 第 5 回)		
運営推進会議の構成員	所 属 (団体等) 名	職 名	出 欠
入居者			
入居者の家族	あじさいユニット	—	欠席
入居者の家族	すずらんユニット	—	欠席
地域住民の代表者	上河合町	副会長	欠席
地域民生委員	上河合町	民生委員	出席
市町村職員	常陸太田市高齢福祉課	主幹	出席
地域社協	常陸太田市社会福祉福祉協議会		欠席
地域社協	常陸太田市地域包括支援センター		出席
地域消防	常陸太田市消防本部 消防課	係長	出席
地域駐在所	常陸太田警察署 刑事生活安全課	警部補	出席
施設職員	グループホーム来夢の杜太田	施設長	出席
施設職員	グループホーム来夢の杜太田	計画作成担当者	出席
施設職員	グループホーム来夢の杜太田	ケアワーカー	出席
議題	○活動状況の報告 ○その他の報告		
利用状況	利用者総数18人 (令和4年1月26日現在) 平均介護度 2.67 稼働率 100%		
	要支援1:0人	要支援2:0人	要介護1:4人
	要介護3:5人	要介護4:1人	要介護5:3人
			要介護2:5人
			—
交流・行事等の実施状況	(直近約4か月又は前回報告以降)		
・利用者の家族との交流内容	11月25日 インフルエンザ予防接種 (職員)		
	11月30日 外部評価		
・地域との交流内容	12月2日 夜間想定避難訓練		
	12月3日 法人内研修 (虐待防止)		
・その他の事業 など	12月4日 入居者誕生会		
	12月6日 経営会議		
	12月8日 内部研修 (身体拘束・高齢者虐待防止)		
	12月13日 セブンイレブン		
	12月14日 法人内研修 (PEAP)		
	12月15日 追加接種説明会		
	12月19日 あじさいユニット会議・ケアカンファレンス		
	12月20日 出張理美容		
	12月23日 入居者インフルエンザ予防接種		
	12月23日 監事監査		
	12月23日 すずらんユニット会議・ケアカンファレンス		
	12月24日 クリスマス会		

	<p>12月30日 入居者誕生会  1月2日 初詣  1月3日 書初め  1月14日 非常勤ケアワーカー研修参加（4名）  1月15日 北海道認知症ケア研究会研修（2名）  1月16日 あじさいユニット会議  1月16日 季節を感じるメニュー  1月16日 初詣  1月19日 内部研修  1月26日 すずらんユニット会議  1月26日 運営推進会議・身体拘束適正化委員会  1月29日 原子力災害広域避難訓練  2月3日 節分イベント  2月4日 新型コロナワクチン追加接種  2月4日 災害備蓄品消費日（カレーライス）</p>
事故の状況	<p>1件  令和3年12月 服薬もれ  職員が、1日分の空袋を確認（錠剤のみ忘れがないか確認）し、所定の缶に移していた際、12月17日朝食後の薬が開封されないまま空袋ともに入っているのを発見したことで服薬漏れを把握した。12月17日朝食後の服薬はその日の夜勤明けの職員が行っていたが、マニュアルでは服薬を終えた空袋はクリップに挟みながら服薬介助を行うこととなっていたが、空袋を確認表のバインダーの上に置きっぱなしにしながら介助を行っていたことで開封していない袋と服薬が終わった空袋が混在してしまっただけで起きた事故だった。また、服薬後確認の押印をする早番職員も、空袋を確認しないまま押印をしたことで、その後服薬に携わった職員も気が付かれないままとなってしまった。</p>
ヒヤリハット報告	<p>（11/17～1/25）全 12件  ヒヤリハットⅠ 10件  ヒヤリハットⅡ 2件  （内訳：内出血1件・表皮剥離1件）  苦情ヒヤリハット 0件</p>
相談・苦情の状況	<p>（直近約4か月又は前回報告以降）  苦情 0件  相談 0件</p>
身体拘束の状況	<p>有：<input type="checkbox"/>無  身体拘束等適正化委員会（直近の開催日 本日開催 1/26）</p>
感染症等の発生状況	<p>有：<input type="checkbox"/>無</p>
その他の報告事項	<p>○無料のPCR検査について  ○職場体験受入について  ○インスリン注射が必要になった入居者の受入先調整について</p>
添付資料	<p>運営推進会議資料（20211117～20220125）  来夢の杜太田通信（VOL.57～58）</p>

会議出席者より

事業所の活動状況の評価

事業所への要望・助言等

●PCR 検査について

施設長：県の通知が出てから、職員に無料のPCR 検査を受けてもらっており現時点まで、職員 20 名中 19 名の職員の陰性が確認できている。検査場所によって、予約が必要なところとそうでないところがあるようで、未実施の職員については、明日 27 日に予約を入れていると聞いている。

また 2 日前に職員に周知をしたのだが、現在厚生労働省から届いている抗原検査キットが 100 回分届いているため、それを有効に活用していくため、鼻水や咳など風邪症状がある職員については現場に入る前に検査をして陰性を確認してから業務につけるようにしている。昨日、1 名の職員が不安あり抗原検査を実施し陰性を確認している。ウエルシアでの個別の検査から、事業所単位での検査に変わり、すでに名簿等も送っているが、現時点でまだ検査キットは届いていない状態。2 月 10 日まで週 1 回となっていたが、まだ検査できていないので何回できるかはわからないが、この PCR 検査や抗原検査が行えるというのは、自分が知らない間に感染していて、自分が感染源になったらどうしようという不安を感じながら働いている職員にとっては安心材料のひとつになっている。実際、この検査は今後どうなっていくのでしょうか。

常陸太田市：PCR 検査については、現時点で延長という話は出ていない。

高齢者施設職員の週 1 回の検査実施と、一般の方の検査等でウエルシアはかなり混乱している状態になってしまったようだ。

茨城県では、高齢者施設従事者について 2 月 10 日までにワクチンの追加接種の完了を目指していることもあり、この日までの PCR 検査としているのだと思う。

ただ、ウエルシアでの PCR 検査については、一般の方向けに 2 月 10 日以降も実施する可能性はあると思うので、情報があれば周知します。

常陸太田市：会議資料の中からの質問なのですが、12 月 2 日に夜間想定避難訓練を実施したとありますが、これは何に基づいた訓練だったのですか？年間計画の訓練ですか？

施設長：はい。そうです。

常陸太田市：この訓練は、何を想定した訓練ですか？

施設長：夜間想定です。

常陸太田市：そうではなくて…夜間に、水害…とか地震とか…そういう何を想定したものだったのかと思ひまして。

施設長：すみません。火事です。

常陸太田市：分かりました。

常陸太田市：実際、夜間想定でどのくらいの時間がかかりましたか？

計画作成担当者：10 分です。

施設長：消防の A さんは、この時参加していただいていたか？

消防：自分は来ていないんです。違う 2 人が参加しています。

施設長：実は、この夜間想定避難訓練の時色々と問題山積みでした。

今回夜間想定ということで、実際に夜勤専属で働いている職員 2 名のみで訓練を実施したのですが、各ユニット 2 名の入居者の避難誘導を忘れてしまうという状況がおきました。1 名の入居者は耳が遠く、サイレンが聞こえておらず居室で過ごされていました。もう 1 名は入居したばかりの方だったのですが、居室に戻ってもらっていたのですが、避難の声掛けを忘れていました。外で点呼していてそのことに気が付き、後から誘導する状況がおきています。でも、消防の方からは、「訓練とわかっていても、こんなにみんなテンパっている。実際に火を見た状況ではもっとテンパってしまうと思う。だから訓練を重ねることが大切なんです。」という言葉をいただいています。

常陸太田市：そうですか。

このエリアは、久慈川と山田川の関係で水害のエリアにもなっているんで、大変だと思いますが水害の訓練も行ってもらいたいです。

施設長：わかりました。

消防のAさんどうでしょうか。

消 防：消防訓練の話なんですけど、実際自分は参加してはいないのですが、参加した職員から反省点がたくさんで、とてもいい訓練だったとの報告を受けています。

実際、こういう高齢者施設では、マンパワーが重要になってきます。特に夜間想定ともなれば、マンパワーが不足している状況で、どうやって避難させるかというのが大切になってくる。

来夢の杜さんでは、この12月2日の訓練の際、応急担架の訓練も併せて行いたいということで、実施している。

また、市のほうから水害時の避難に関しても、やはりマンパワーが必要になってくる。人がいなければ避難もできない。

それに、水害の場合は時間との闘いになります。

いかに、計画的に安全な場所に入居者を避難させるかが重要。

市役所や地域の方との連携も必要になってくると思う。実際に避難することは難しくても、連絡体制や連携をどうするかを訓練でやるのはいいと思う。

施設長：ありがとうございます。

消 防：あともうひとつ。救命講習についてですが、新型コロナウイルスの関係で、救命講習が中止になっています。

ホームページに、救命の動画を載せていますので、それを見て忘れないように活用してもらいたいと思います。

施設長：ありがとうございました。

警察の方、何かありますか？

警 察：あの…すみません。

自分の聞き漏れなのかもしれませんが、令和3年11月9日に発生した虐待についてですが、どうゆう状況で起きているのでしょうか。

施設長：はい。これは、居室に外側から鍵をかけてしまうという虐待でした。

警 察：なぜ鍵をかけたのでしょうか。

施設長：この入居者は、とても落ち着きがなく、就寝介助後も歩き回り他入居者の居室に入ってしまう状況が見られている方でした。

発生した19時半は、日勤職員が退勤し、夜勤者が出勤してくる21時50分までひとりで業務に就く時間帯です。

鍵をかけてしまったのは、遅番の職員なのですが、記録や残った業務を行おうとしたのですが、この落ち着きのない入居者がウロウロ歩き回ってしまうと、自分の仕事ができないため、居室にいてほしいという思いから、このような対応をしてしまいました。

警 察：そうだったんですね。ありがとうございました。

施設長：現在は、このような状況にはならないようにしています。

この職員は、現在早番と日勤業務のみ行っております。

鍵も事務所で預かっています。

ずいぶん前の身体拘束適正化委員会の際、感染者が出た際、隔離ができない入居者に関しては、鍵の取り付けを逆にすることで、(外側につまみ、居室内側は鍵をさすようにする)拘束にはなるが感染防止策としてこのような対応をとるということにご同意頂いていると思う。

何室か、万が一感染者が出た時に備えて鍵を逆に付けてみたことがあった。つまみが外側にあり鍵をかけようとすれば容易に鍵をかけられる状況にあった時期があったが、この時閉じ込めのような状況は起きていません。今回、職員が外側から鍵を締める状況でした。

警 察：わかりました。

施設長：Bさん、地域の方からということでどうでしょうか・

施設長：そうですね。昨日アナウンスされておりましたよね。

民生委員：実際、原子力災害が起きた場合の施設の対応はどのように決まっていますか？

施設長：以前、北朝鮮がミサイルを発射したというアラームが鳴った際、朝だったと思いますが、外で作業をしていた入居者には屋内に入ってもらい、カーテンを閉めて窓から離れた場所にとどまってもらうという対応を取ったことがあります。

もちろんなにもありませんでしたが、もしその後何かあったら…避難をしなければならない状況になった時にどうするかということまでは全く決まっていないのが現状です。

常陸太田市の避難先は、確か南会津町でしたよね？

消 防：そうですね…

常陸太田市：そうです

施設長：確か区域単位で受入町が変わっていたと思うのですが、入居者がまとまって避難になるのか、ご家族の居住区で避難するのか…職員にも家族がいると思うので、職員の避難はどのようにするのかなど、確認しなければならないことはたくさんあります。

民生委員：そうですね。地域の方もこの原子力災害の避難についてはこれからの部分あります。

施設長：包括支援センターのCさんどうですか？

地域包括：大丈夫です。

施設長：11時過ぎましたので、これで第5回運営推進会議を終わりにします。

次回開催は、3月16日を予定しています。

まん延防止等重点措置が明日から2月20日まで茨城県にも発令されます。延長にならなければいいのですが…やはり、資料を配布するだけでは、お伝え出来ないことや、短い時間でも会ってこのように様々な意見を交わせる機会があるのはとても貴重なので。感染対策を講じ、解除になっていたら対面での開催を考えておりますので皆様是非ご参加いただければと思います。